

山梨発

新たな 飛躍



納得いく会社に出会うまで
私のこだわりに
粘り強く付き合っていた
参与さんに感謝しています。

シーマ電子株式会社
開発試作評価グループ 評価解析チーム

松本 邦世さん

1954年6月京都府生まれ。京都で電子部品の製造販売会社に就職し、電子部品を生産するための自動化設備の開発に携わる。約11年勤務した後、大阪の企業に転職。1994年、山梨県への転勤を機に、家族とともに甲府市に転居。現在は2人の息子が独立して、夫婦二人暮らし。体を動かすことが好きで、週に2～3回スポーツジムに通って汗を流している。「筋トレ、ウォーキングマシーンだけでなく、年齢に似合わずダンスやエアロビクスもやっています(笑)」。

マッチング 3つのポイント



本人

高齢という厳しいハードル

技術者としての豊富な経験

働きがいへのこだわり



受入企業

経験豊富なベテランを要望

若手の教育を任せられる人



センター

求職者の希望を尊重

職場環境の適確な把握

長期にわたる丁寧なケア



長年の経験を生かせる仕事がしたい

四十年あまり技術職一筋で歩んできて、近年、電子部品の実装設備の製造・販売を行う会社で定年退職を迎えられた松本さん。まだまだ心身ともに健康な中、残りの人生を考えたとき、専門の知識と経験を生かして、第二の人生に花を咲かせたいと思い、再就職の機会を求めて民間の人材サービスクラスや産業雇用安定センターに登録。それから約一年半、なかなか意に沿う企業の話がなく、センターとは十五〜六回の面談を重ねた。「多いときは月二〜三回相談させてもらいました。自分の能力を生かせるものづくりの会社に行きたいと、わがままを言わせていただき、かなり迷惑を掛けたいと思います(笑)」。そんな松本さんに、参与は年齢的に厳しいことは正直に伝えた。「途中で、少し妥協したほうが良いかもしれないという話もしましたが、それでも自分の技術と能力を生かせる仕事をしたという松本さんのこだわりは、一貫して変わりませんでした」。

参与と工場見学をして、この会社だと確信

もちろん産業雇用安定センターとしては、松本さんの希望に近い企業に紹介したのは山々だったが、定年を超えているという部分がネックとなり、それだけで話が進まないケースがほとんどだった。そんなとき、以前何度か求人支援でお付き合いのあった賛助会員企業のシーマ電子から、新たな求人への相談を受ける。

シーマ電子は、半導体の試作・評価・解析などを行っており、さまざまな企業の新製品開発をサポートしている会社だが、試作・評価の業務依頼が増えたことで、人手が足りない状況にあった。「若い社員に本格的な実装の経験をした人がいなかったため、今回は年齢問わず、実績豊富なベテランを実装部門に入れた方がレベルも上がると考え、

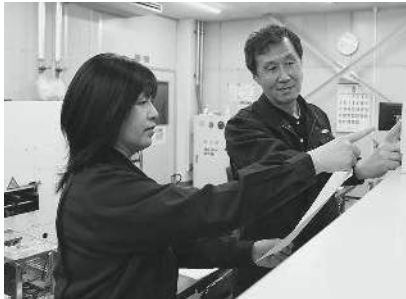
そういった人材がいたら紹介してほしいとセンターにお願いしました」と同グループの山本さん。シーマ電子では、量産の仕事と違って案件ごとに異なる条件に対応する知識と技術が求められることから、参与は「これまで企業でいろいろな開発を任された実績や成功体験だけでなく、数多くの失敗なども含め、豊かな経験をお持ちの松本さんがマッチする」と考えたそうだ。

松本さんは、参与から勧められたシーマ電子のことをよく知らなかったが、ホームページで調べたところ、業務内容に興味があったという。「参与さんから工場見学をご提案いただいたのが非常にありがたかったですね。直接自分の目で見て、ここなら、私のこれまでの経験が生かされると確信し、シーマ電子に就職したいという気持ちになりました」。一方のシーマ電子も「履歴書を見させていただいて、求めていた人材だと感じました。松本さんのような実績を持つ人は、なかなか市場にいませんからね」と、最初の段階で高く評価していたようだ。

企業と求職者それぞれのニーズが見事にマッチ

これまで就職活動が思うように進展しなかったのが嘘のように、工場見学後は、一次面接、二次面接と話がトントン拍子で進んでいった。

「工場見学に同行いただいた参与さんから、先方の反応も良かったと聞き、面接も自信を持って臨めました」。逆に参与は、プロ意識の高い松本さんが、面接において条件面で高い要求をしないかを心配していたという。シーマ電子にしてみれば、松



チームワークの良さに年齢は関係ない

本さんの経験や技術は申し分なかったため、何の問題もなく採用が決まった。「参与さんに真つ先に報告しました。一緒になって喜んでいただいたことが強く印象に残っています」。求人側と求職者のどちらもストライクゾーンが狭い中で、ここに相思相愛のマッチングが成立した。

入社して五カ月あまり。シーマ電子は、社員全員が礼儀正しく、協調性やチームワークを大事にする社風があつて、松本さんにとつて非常に働きやすい職場だという。現在は、電子部品の実装関連の業務を担当。「今は会社や環境に馴れ、仕事をどんどん吸収していく時期。この業界は技術革新が凄いスピードで進んでいますので、私の知らないことも数多くあり、経験したことがない部分は大変ですが、そうした知識や技術も勉強して、自分のものになりたい」と、松本さんはどこまでも意欲的だ。一方で、これまでの自分の経験から、改善の余地が見られる業務やケースもたまにあるという。「会社としての事情や理由もあるでしょうから、もう少し状況を理解して、少しずつ自分の考えを出していくかと思うています」。

就職活動では自分のこだわりを大切に

働きがい第一に、自分のやりたい仕事にこだわった松本さん。「時間が掛かりましたが、参与さんに無理を聞いていただいたおかげで、納得いく会社に就職でき非常に喜んでいきます。工場見学では丁寧な地図や資料をご用意いただいたり、細かいケアも行き届いていて助かりました。今は感謝しかありません」。

そんな松本さんに、新たな働き場所を求める方へのアドバイスを伺った。「高齢になるといろいろな面で選択肢が狭まりますが、自分のこだわりは大切にして粘り強く就職活動をしてほしい。それによって、お互いにWin・Winの関係が築かれ、それが自分自身の生きがい、働きがいにつながると思います」。

シーマ電子株式会社 試作評価グループ
山本 洋子さん

これまでの経験をもとに 若手の育成にも期待

これまで産業雇用安定センターには何度かお世話になり、今回の松本さんのご紹介でも一生懸命にやっていたご感謝しています。現在、松本さんには若手と同じように実装業務をやってもらっているところです。作業的には丁寧な仕事をしていただき、メカにも詳しいので、装置の不具合などにすぐに対応していただけて本当に助かっています。大先輩なので、身に付けてこられたスキルや経験をいろいろな吸収させていただきたいと考えています。実装における印刷、マウント、リフローなども詳しいということなので、これからアドバイスなどをいただける機会も出てくるかと思えます。また、当社は少量多品種の仕事がメインで、量産を知りませんので、量産の場合はこうしているなど、ヒントをいただけるとありがたいです。今後は勉強会を開くなど、若手の教育に役を買っていただくことも期待しています。



シーマ電子株式会社 設計・試作・評価センター
〒407-0033
山梨県韮崎市龍岡町下條南割 995-440
TEL: 0551-23-0642
FAX: 0551-23-0644
●設立/1983年8月(1989年4月山梨事業所及び山梨工場開設)
●従業員数/男性: 42名 女性: 19名
<https://shiima.co.jp>